

登録コード	MA760504	開講年度	2026					
授業科目名	理学療法学特別研究					担当教員	青木 薫	
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Physical Therapy					副担当		
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	不定期	対象専攻／学年		
講義室				授業形態	演習	授業科目区分	必修科目	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄							
	MS 2 6カリ(保健学), MS 2 5カリ(保健学), MS 2 4カリ(保健学), MS 2 3カリ(保健学)							
	【研究科共通】医学系諸科学における学識と情報収集能力・分析能力、研究技術を備えており、共同もしくは単独で、それぞれの分野における諸課題を解決できる。					⇄	研究テーマにそって課題を抽出・分析し、研究計画を立てて研究を行い、結果を学会演題、論文として発表できる。	
	MS 2 6カリ(保健学), MS 2 5カリ(保健学)							
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。					⇄	リハビリテーション、理学療法、整形外科医療の現場において、求められる研究課題を見つけ、それを解決するための研究方法を計画・実行することができる。	
(2)授業の概要	特論や演習で学んだ理論と技術を基に、新しい科学的な理学療法学・作業療法学の確立に貢献できる運動機能障害・高次機能障害に関する基礎的研究を行う。							
(3)達成目標（一般学習目標G I O）	研究を実践する過程において、情報収集能力・分析能力・グローバルな情報発信能力を習得する。							
(4)達成目標（個別行動目標S B O s）	疾患の病態を解剖学的・生理学的に理解し、その治療に対する考え方を整理すると共に、新たな治療法の考え方を構築する。 各種実験を通して様々な病態を検討し、新しい考え方を導く。							
(5)授業計画	1）研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 2）計画にそって実験および調査を実施する。 3）実験や調査結果をまとめ、その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって、研究テーマを発展させる。 教員は、討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。							
(6)授業の進め方	実験計画、実験結果の評価・考察、研究成果の発表(学会・論文など)についてリサーチミーティングを行い、研究を進める。							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	リサーチミーティングの際に、研究の内容に関わる文献、参考書を指定する。それらから得られた内容を次のリサーチミーティングでのプレゼンテーションに含んで発表すること。							
(8)成績評価の方法	研究の進捗状況に関するリサーチミーティング(月に1回程度)にてプレゼンテーションを行い、各ミーティングごとに100点満点で評価を行う。総得点の60%以上を合格とする。							
(9)成績評価の基準	リサーチミーティングにおけるプレゼンテーション内容において、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」と評価する。							
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	定期的に研究の進捗状況に関するミーティングを行う。 質問、相談は、その際に受け付けるが、必要があれば適宜、対応する。 メール: kin29men@shinshu-u.ac.jp							
【テキスト、教材、参考書】	適宜、指示する。							